



教育民生常任委員会

本会議より付託された議案は、15件と継続審査となっている請願1件である。

から繰入を行えば8年後からは、基金のみで自立して運用ができる。

■議案第7号 仙北市奨学資金条例の一部を改正する条例制定について

問 生保内財産区と田沢財産区へ説明した際の議事録を見ると、所々に地域への感情的な発言が見られた。どれだけ理解が得られているかが大切だと思うが、感触はどうだったのか。

答 両財産区の貴重な財産を繰入した、歴史的経緯を大事にしてほしいという意見もあり、奨学資金条例にその趣旨を明記している。1本化に反対であるというような意見はなかったと思う。

問 子供は少なくなってきているが、逆に進学率は上がっている今後の運用計画は考えているのか。

答 年間27人を考えている。来年度から2,000万円を7年間一般財源

■議案第18号平成24年度仙北市一般会計予算

●3款 民生費

問 福祉医療費助成は、小学校6年生まで医療費を無料にする予算であるが、更に中学生まで拡充する考えはないか。

答 中学校まで拡充した場合、約580人分、年間1,000万円の増額となる見込である。出来れば25年度当初予算に計上し来年の8月から実施できればと考

問 保育園での非常勤職員の保育



未満児室を増築する角館保育園

士が全体の6割以上もいて、大変な課題である。非常勤職員の保育士のモチベーションを上げるための待遇改善は検討しているのか。

答 今まで時間外勤務については振替休暇で対応していたが、24年度からは時間外手当を支給する。また通勤手当も改正する。今後の退職者を考えると益々、非常勤職員の保育士が多くなり保育の継承が出来なくなる。

更に来年を担えるリーダーが育っていないという課題もある。6割が非常勤職員というのは異常であり対応については、急ぐ問題であると認識している。

●4款 衛生費
問 日本温泉気候物理医学会補助金について、全国大会ということだが、どのくらいの規模なのか、またその内容は

答 第77回となる全国大会で、全国各地から医師等、約500名が集まる大会である。内容については総会、学術集会、シンポジウム、研究発表が主なものである。

◎賛成討論

角館保育園を増築して未満児24名の枠を増やすことは評価できる。ただまだ入れない子供もいる。旧佐藤義亮邸を改装し、保育支援団体のハッピーママを始め、ボランティアの力を借りて対策にあたるということだが、あの場所は角館地域運営体の拠点にもなっている。運営体を始め地域の方々と連携することで、この問題を解消していくことが必要だと考える。来年度は、待機児童対策に力一杯頑張りたい。ただきたいという意見を付して本案に賛成する。

◎反対討論

保育園の非常勤職員の保育士が6割以上にも及び、保育園の経営に支障をきたすと思われる。今回は時間外手当と通勤手当の対処だけである、それではモチベーションは上がらない。また角館保育園の未満児室を増築するが、それでも待機児童の完全なる解消にはならない。そのような立場から本案について反対であ

■議案第38号平成23年度仙北市国民健康保険特別会計補正予算

問 所得税還付等調査問題に関する返還会には何人いるのか。また損失負担金の集まる見込みと、今後の展開をどのように考えているのか。

答 懲戒処分を受けた現職の方々10人である。またOBでこの事案に関

わっている方々については、個別に会って調査結果の報告も兼ね説明し、一定額を提示して返還会への協力をお願いしている。概ねの理解は得ていると思っている。また現職の職員、OBの方々についても協力する相談が進められており、出来るだけ広範な協力が組織できれば良いと思っている。

■継続審査

請願第1号家庭用LED照明購入補助事業
省エネや、地球温暖化への取り組みについては、率先して市が行うべきと考える。市内の街灯や公共施設の照明などから計画的に取り組みを始め、それにより普及活動にも繋がっていくと考える。

◎採決の結果

全議案、原案通り可と決定した。

(佐藤直樹 記)